

第287号 2011年 8月 1日
弘前大学総務部総務課

学術講演会・研究発表会・公開講座

「第13回青森継続看護研究集会」開催のお知らせ

青森継続看護研究会は、保健医療福祉に関わる専門職者だけでなく市民への参加も呼びかけ、年1回の集会を開催しています。今年度は、東日本大震災時の対応と、高次脳機能障害の方の支援についてとりあげ、下記のように開催いたします。多数のご参加をお待ちしております。

1. 日 時：2011年 8月21日（日） 9：55～16：35
2. 会 場：弘前大学大学院保健学研究科 総合研究棟第24講義室（6階）
地域看護学実習室（2階）
3. プログラム：

○示説によるラウンド・ディスカッション
10：00～11：20

「東日本大震災 そのとき現場でどう対応したか」
病院、施設、訪問看護ステーション、医療系大学などの
立場から、7件の話題が提供されます。

○講 演
13：00～14：40

「高次脳機能障害について」
講師：北條 敬 氏（松平病院 理事長・院長）

○シンポジウム
14：50～16：30

「高次脳機能障害を持つ方と家族の支援」
コーディネーター：野宮 富子 氏（東青地域県民局 地域健康福祉部 保健総室）
日ごろ高次脳機能障害を持つ方と関わっている精神保健福祉士、障害者職業カウンセラー、
言語聴覚士、ご家族の4名の方々に発表していただきます。

※会員は参加無料です。会員以外の方でも内容に関心をお持ちの方はどなたでも参加できますが、資料代として500円をお願いしています。参加申し込みは不要です。

問い合わせ先： 弘前大学大学院保健学研究科 木立 るり子
電 話・FAX：0172-39-5922
E-mail：kidachi@cc.hirosaki-u.ac.jp



弘前大学大学院保健学研究科

「緊急被ばく医療人材育成プロジェクト 現職者研修」のお知らせ

弘前大学大学院保健学研究科では、多くの原子力関連事業所が集中している青森県における緊急被ばく事故の被害に対する安全・安心の確保、原子力関連企業従事者の医療リスク管理システムの構築、被ばく医療に対応できるメディカルスタッフの養成を目指し、文部科学省特別経費プロジェクト「緊急被ばく医療支援人材育成及び体制の整備」（平成20年度～平成24年度）を実施しております。

このたび、この取り組みの一つとして、現職の看護職者及び診療放射線技師を対象とし、緊急被ばく医療に必要な知識を習得、連携・協働しながら、適切な対応かつ安全管理ができる医療職者を育成することを目的に、「緊急被ばく医療人材育成プロジェクト 現職者研修」を次のとおり開催いたします。

1. 開催期間：

2011年 8月27日（土）（診療放射線技師コースは午後から）

2011年 9月10日（土）、11日（日）

2. 場 所：弘前大学大学院保健学研究科

3. 募集コース：看護職コース

診療放射線技師コース

4. 対象者及び募集人数：看護職者及び診療放射線技師 合わせて20名程度

5. 受講料：無 料

6. プログラム及び詳細：

緊急被ばく医療人材育成プロジェクトWebサイト：<http://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/~hibaku/> をご覧下さい。（看護職コースと診療放射線技師コースで1日目の開始時間が異なります。）

7. 申し込み方法：

上記URLより参加申込書をダウンロード、必要事項をご記入の上、
平成23年 8月 4日（木）までに、当研究科宛にFAXまたはメールにてお申し込み下さい。

申込締め切り後、当研究科より「回答書」をFAXにて送付いたします。

なお、8月12日（金）までに回答書が届かない場合には、下記の問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

8. その他

- ・本研修を修了した参加者の方には、修了証を発行いたします。
- ・9月10日（土）のプログラム終了後に懇親会を予定しております。
- ・9月10日、11日は、パンツスタイル、スニーカーなどの動きやすい服装でご参加ください。
- ・講師及び講義のタイトルは一部変更になる場合があります。

問い合わせ先： 弘前大学保健学研究科総務グループ 竹浪

電 話：0172-39-5905

FAX：0172-39-5912

◆緊急被ばく医療人材育成プロジェクトWebサイト：<http://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/~hibaku/>

弘前大学理工学研究科博士後期課程安全システム工学専攻博士論文公聴会のお知らせ

弘前大学理工学研究科博士後期課程安全システム工学専攻の博士論文公聴会を下記の要項で開催いたします。皆様のご出席をお待ちしています。

1. 日 時：2011年 8月30日（火） 13:00～15:00
2. 場 所：弘前大学理工学研究科1号館4階 第8講義室
3. 学位申請者：陳 剛
4. 論文題目：

Fabrication of high performance cathode-supported SOFC and the degradation mechanism of Ni-based anode at high current density
(高性能空気極支持型SOFCセルの創製及び高電流密度領域におけるNiベースアノード劣化機構の解明)

問い合わせ先： 弘前大学北日本新エネルギー研究所 阿布 里提
電 話：017-735-3362
E-mail：abuliti@cc.hirosaki-u.ac.jp

**文部科学省科学技術戦略推進費 地域再生人材創出拠点の形成（再掲）
「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」
「平成23年度第2回 被ばく医療プロフェッショナルセミナー」開催のお知らせ**

弘前大学「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」では、放射線の人体影響、特に胎児や子供への影響についての知識を習得することを目的に、「平成23年度第2回 被ばく医療プロフェッショナルセミナー」を開催します。

今回は、放射線医学総合研究所放射線防護研究センターより 島田 義也 氏 をお招きし、放射線被ばくの影響に関してご講演をいただきます。

1. 日 時：2011年 8月 8日（月）
18:30～19:30
2. 会 場：保健学研究科 総合研究棟第24講義室（6階）
3. 講 師：

独立行政法人放射線医学総合研究所
放射線防護研究センター発達期被ばく影響研究グループ
グループリーダー 島田 義也 氏

4. 演 題：「胎児、こどもの被ばく影響を考える」
5. 参加料：無 料
6. その他：参加を希望される方は、事前に下記の問い合わせ先まで申し込み願います。

問い合わせ先： 弘前大学「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」事務局
被ばく医療総合研究所事務室
電 話・FAX：0172-39-5401
E-mail：jm5401@cc.hirosaki-u.ac.jp
URL：<http://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/~hibaku-pro/>



次世代型IT基盤技術開発センター講演会（再掲）
～電子情報通信学会東北支部学術講演会～（廣瀬文彦教授）開催のお知らせ

1. 日 時：2011年 8月11日（木） 13：30～15：00
2. 会 場：理工学部1号館2階、大会議室
3. 講 師：山形大学大学院理工学研究科 廣瀬 文彦 教授
4. 演 題：界面修飾法による色素増感太陽電池の高効率化
5. 概 要：色素増感太陽電池はローコストな太陽電池の候補としてさらなる高効率化が求められている。効率向上のためにより高密度な色素吸着を実現することが重要だが、我々は分子層レベルでの高感度な評価が可能な多重内部反射赤外吸収分光法を用いて、色素吸着機構を調べ、高密度化を図るための界面修飾法の適用を試みた。本発表では、吸着評価結果、界面修飾の効率向上効果について紹介する。
5. 主 催：電子情報通信学会東北支部
6. 共 催：弘前大学次世代型IT基盤技術開発センター
弘前大学電子情報工学科

※事前申込は必要ありません。

教員、学生、大学院生等、興味のある方の御参加をお待ちしております。

問い合わせ先： 弘前大学大学院理工学研究科 岡本 浩
電 話：0172-39-3636
E-mail：okamoto@eit.hirosaki-u.ac.jp

電子情報通信学会電子部品・材料（CPM）研究会開催のお知らせ（再掲）

1. 日 時：2011年 8月10日（水） 13：00～17：25
2011年 8月11日（木） 9：00～12：35
2. 会 場：弘前大学理工学部1号館2階、大会議室
3. 議 題：電子部品・材料、一般
4. 主 催：電子情報通信学会電子部品・材料（CPM）研究会
弘前大学次世代型IT基盤技術開発センター
弘前大学電子情報工学科

※事前申込は必要ありません。

教員、学生、大学院生等、興味のある方の御参加をお待ちしております。

問い合わせ先： 弘前大学大学院理工学研究科・中澤 日出樹
電 話：0172-39-3559
E-mail：hnaka@cc.hirosaki-u.ac.jp

学 内 掲 示 板

男女共同参画推進室からのお知らせ

論文投稿費および英文校閲費助成の廃止について

平成22年度に実施していた「論文投稿費助成」および「英文校閲費助成」につきましては、科学技術振興調整費の見直しに伴い、本年度の継続が難しくなりましたので、廃止いたします。昨年度の実施期間が短かったにもかかわらず評判がよく、本年度の再開を心待ちにしていた方々もおられたことと思います。廃止の決定と周知が遅くなり、ご迷惑をおかけした方々にはお詫びいたします。

平成23年度以降の「つがルネッサンス！」は文科省の措置により「科学技術人材育成費」として継続しております。今後とも、よろしくお願い致します。

第5回女性研究者フォーラムのお知らせ

女性研究者フォーラムは、学部を超えて女子学生と女性教員の交流する場です。自由なおしゃべりを通して、女性研究者の情報の共有化及び女子学生へキャリアモデルの提示をすすめます。第5回女性研究者フォーラムは、資生堂からビューティーコンサルタントの小田桐 亜沙子さんを講師としてお招きし、就職活動から大人のメイクまで、実演を交えてご指導いただく予定です。就職活動を前にした方、これからメイクを始めようと思っている方、長い間メイクしてきたけど正しいかどうか不安を感じている方…多くの女子学生・女性教職員の参加をお待ちしています。さらに今回は参加特典として、弘前大学を卒業した社会人の先輩たちからのメッセージの詰まった、弘大『キャリア@通信』と先輩たちの『就職先一覧』（いずれも弘前大学学生就職支援センター）を差し上げます。今回は午前と午後の2回開催です。ご都合のよい時間帯を選び、ふるってご参加ください。

1. 日 時：2011年 8月 9日（火）
オープンキャンパス同時開催

1回目 11:00～12:00
2回目 13:00～14:00

2. 会 場：弘前大学創立50周年記念会館 1階 会議室1

3. 講 師：資生堂 ビューティーコンサルタント
小田桐 亜沙子 さん

4. 参加費：無 料

5. 主 催：弘前大学男女共同参画推進室

6. 共 催：弘前大学教育・学生委員会

（このフォーラムは、FDワークショップとして開催されます）

7. 協 力：弘前大学学生就職支援センター



問い合わせ先： 弘前大学男女共同参画推進室 鶴井 香織
電 話：0172-39-3885
E-mail：equality@cc.hirosaki-u.ac.jp

URL：<http://www.hirosaki-u.ac.jp/equality/contents/event.html>

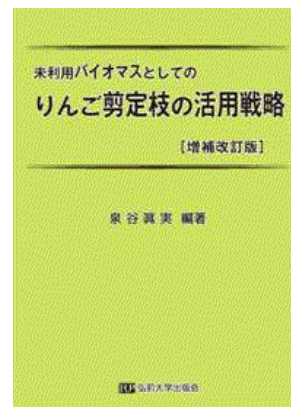
弘前大学出版会から新刊のご案内

農学生命科学部准教授 泉谷 眞実 編著「未利用バイオマスとしてのりんご剪定枝の活用戦略 [増補改訂版]」(A5判、107頁、定価1,000円：税込)を出版しました。

本書は、青森県の主要な未利用バイオマスであるりんご剪定枝の活用戦略について、弘前大学の教員を中心に、実際のりんご栽培者にも加っていただき、編まれたものである。

青森県内のりんご園から出る剪定枝は、青森県の間伐材の量にも匹敵し、毎年15万tにのぼるといわれている。この有効利用は青森県にとっても重要な課題であり、「あおもり・バイオマス利活用総合戦略」でもその重要性が取り上げられてきた。木質系バイオマスとしてのりんご剪定枝の有効利用は、青森県における資源の循環利用という観点からばかりでなく、大気中の二酸化炭素の削減という点からも積極的に取り組むべき課題と思われる。

本書では、初版にその後の研究成果を加え、剪定枝の堆肥化からりんご園に帰すという循環型農業の取り組み等、剪定枝の有効利用の可能性をさまざまな角度から模索している。



ご興味をお持ちの方は大学生協または市内の書店でお買い求め下さい。

弘前大学出版会から出版のための企画募集

弘前大学出版会から著書の出版を希望される方は弘前大学出版会にご相談ください。出版企画提案書の書式を添付ファイルでお送りいたしますので、ご記入の上、ご返送ください。詳細についてはご連絡いただいた折に、ご説明いたします。

問い合わせ先： 弘前大学出版会（附属図書館内）
電 話：0172-39-3168
FAX：0172-39-3171
E-mail：hupress@cc.hirosaki-u.ac.jp

国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」について

本学会が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」を作成しています。

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧いただけます。

http://www.janu.jp/active/7janu_quarterly_report.html

編集担当から) 講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日(毎月1日と16日の2回)の7日程度前までに、下記のところまでご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部総務課広報・支援グループ

E-mail：jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp、Fax:37-6594、内線：3012